



中部電力



中部電力パワーグリッド



中部電力ミライズ

# 安全と健康の確保に向けて

中部電力株式会社

中部電力パワーグリッド株式会社

中部電力ミライズ株式会社

# はじめに



- 日頃から安全と健康の確保へのご協力をいただき、ありがとうございます。
- 当社は、2019年度から**安全健康行動原則**を制定し、従業員の行動規範としています。
- 当社は、お取引先のみなさまを、当社の代わりに仕事をしていただいている大切な事業のパートナーと考えています。発注者として、無理のない工期設定、安全対策の検討、過去の災害から得た教訓の共有など、できる限りのサポートをさせていただきます、安全と健康を守るために力を合わせて活動していきたいと考えています。



## 安全健康行動原則

すべての役員および従業員は、

➕ 「すべてのケガは防ぐことができる。」

📈 「生涯にわたって健康であり続ける。」

との揺るがない信念を持ち、いかなる場合も次のとおり行動する。

- 1 安全と健康のための行動を称賛し、対話を実践する。
- 2 仲間の成功や失敗から得た教訓を自らの行動に活かす。
- 3 あらゆるリスクを洗い出し、ただちに低減し、管理する。
- 4 人への対策（意識、教育訓練、ルール）とモノへの対策（設備、装備）を共に充実させる。
- 5 事業のパートナーと、安全と健康のために協働する。
- 6 勤務時間外も安全に行動し、健康の保持増進に努める。

会社は安全と健康への施策および投資を継続する。

# 01 至近の請負災害状況、当社の取り組みについて

---

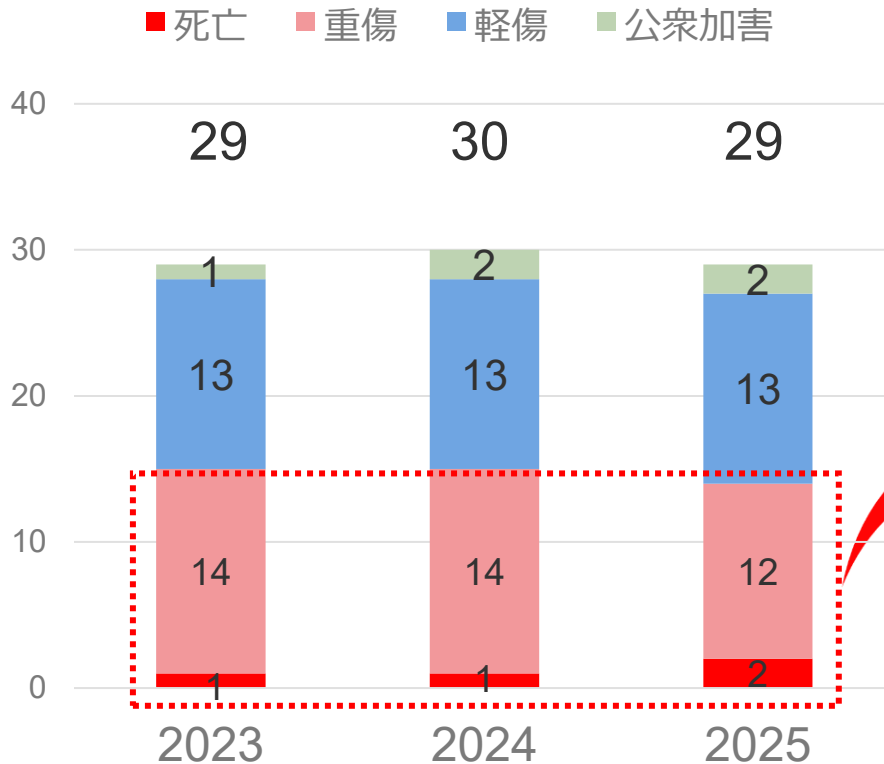
# 至近の請負災害の傾向



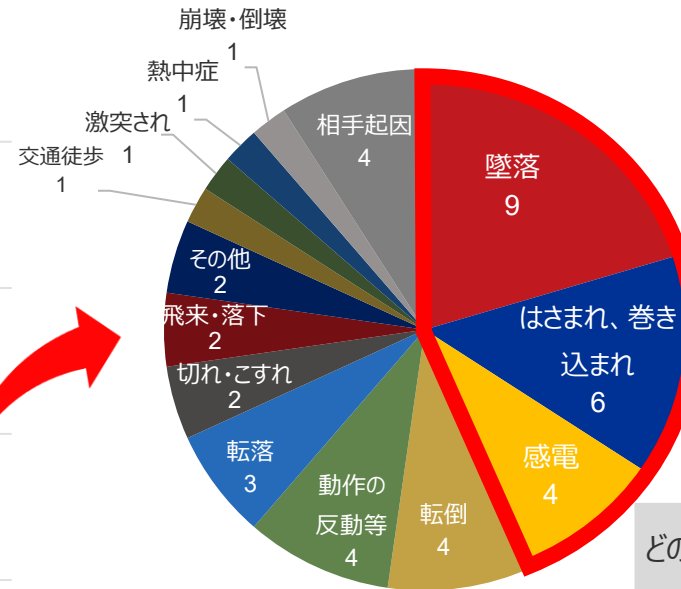
## 請負災害実績

- 2025年度は6年連続となる死亡災害2件に加え、12件の重傷災害が発生しています。
- 死亡・重傷災害においては「墜落」、「はさまれ・巻き込まれ」、「感電」が繰り返し発生しています。

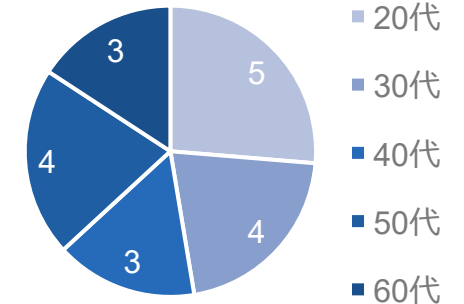
### 請負災害件数



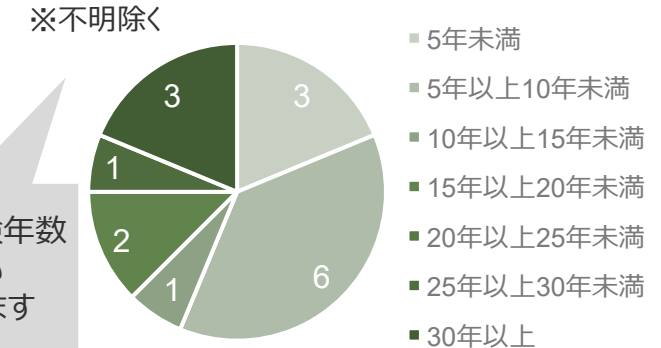
### 死亡・重傷災害の発生類型件数(至近3カ年)



### 上位3災害の年代別件数



### 上位3災害の経験年数別件数

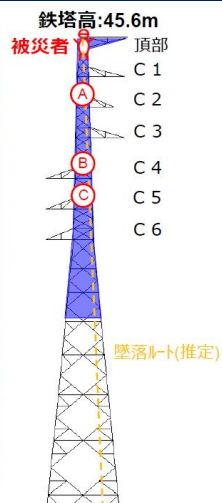


どの年代・経験年数においても発生しています

# 墜落災害事例



## 鉄塔防錆塗装上塗り作業中に塔上から墜落

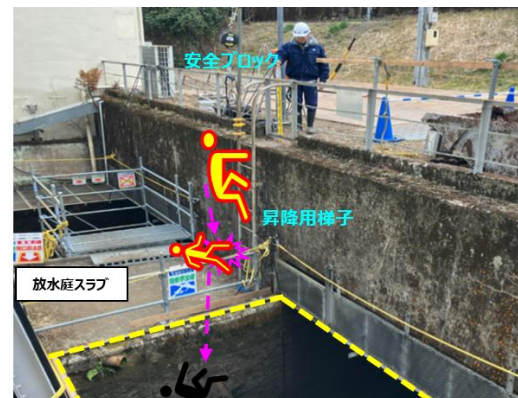


<b>業務内容</b>	鉄塔防錆塗装（上塗り）
<b>災害態様</b>	墜落（2m以上の高所から落下）
<b>ケガの程度</b>	死亡
<b>傷病名</b>	—
<b>発生状況</b>	鉄塔頂部でヘリ標識塗装を実施中に無胴網状態になり墜落（推定）

### ■ 恒久対策（抜粋）

重要な事実	根本原因	恒久対策
<ul style="list-style-type: none"> <li>被災者は墜落時には、ランヤードを使用していなかった</li> <li>被災者のワークポジショニングロープは部材に掛かっていなかった</li> <li>養生ネットがあったため現場監督者は作業員の動きが見えなかった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災者は、無胴網だった（推定）</li> <li>作業員の不安全行動を始動できなかった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ランヤードをより確実に使用するための装備品の適用</li> <li>鉄塔塗装作業を行うためのフルハーネス教育の実施</li> <li>作業員の安全意識の向上（安全5か条の活用）</li> <li>目視できない箇所の確実な作業状態の確認（細則等に作業員の監督方法の明示）</li> <li>元請会社の自主改善を促すための制度導入</li> </ul>

## 放水庭から地上に出る際に昇降用梯子から墜落



<b>業務内容</b>	鉄塔基礎埋め戻し
<b>災害態様</b>	墜落（2m以上の高所から落下）
<b>ケガの程度</b>	重傷
<b>傷病名</b>	左肘開放骨折、右肋骨骨折
<b>発生状況</b>	昇降用梯子を上る際に持ち手が滑り墜落

### ■ 恒久対策（抜粋）

重要な事実	根本原因	恒久対策
<ul style="list-style-type: none"> <li>被災者は、設置された安全ブロックを使用しなかった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場は、仮設階段の設計に対して、アドバイスできなかった</li> <li>安全に関して相互に指摘し合う必要性を発信していなかった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事施工安全計画書に昇降設備使用計画（現場までの出向ルート含む）を添付する</li> <li>乗込み教育やディスカッションを実践するとともに月に1度の現場の「災害防止協議会」では「声掛け運動」の行いやすい雰囲気作りを行う</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>梯子には、左の持ち手に単管のクランプカバーが取付られていた（握れなかった）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業現場では、お互い（幹部—上席者—現責—作業員）のディスカッション（対話）が不足した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現場責任者と作業員は、朝礼時に現場の問題点や改善等の意見交換を行い、意思疎通を図る。幹部・上席者はパトロールを実施し、内容について現場責任者と意思疎通をはかる</li> <li>パトロール結果、是正後の現場状況については、現場責任者が各協力会社の職長へ確認する</li> </ul>

# 感電、はさまれ・巻き込まれ災害事例



## 屋外制御ケーブル布設作業後の片付け中に治具先端が充電部に触れて感電

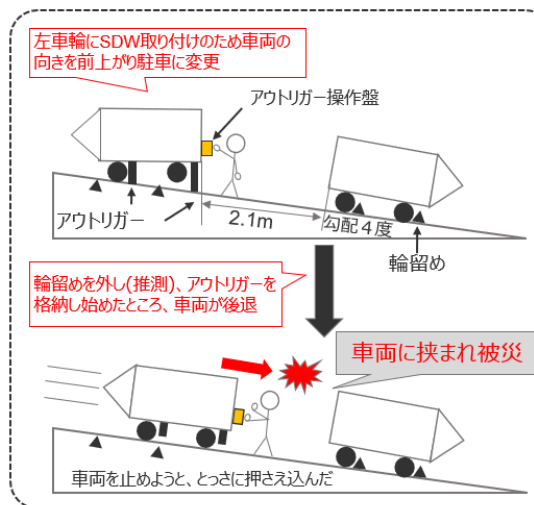


<b>業務内容</b>	制御ケーブル布設作業後の片付け	<b>ケガの程度</b>	重傷
<b>災害態様</b>	感電		
<b>傷病名</b>	電撃症		
<b>発生状況</b>	屋外制御ケーブル布設作業後にケーブル布設用の治具を収納していたところ、治具先端が跳ね上がり充電部に接触し感電。		

### ■ 恒久対策（抜粋）

重要な事実	根本原因	恒久対策
・監督者は監督者の任務について理解が不足していた	・元請会社は、監督者の任務および現場で遂行することに対する指導が不足していた	・元請会社の安全品質管理体制の見直し ・元請会社のPDCAサイクルを機能させる指針・マニュアルの制定 ・現場監督者の任務遂行、作業者の義務を実行させるための指導、評価方法 ・施工安全計画書への記載内容、具体的な作業方法（制御ケーブル布設方法・使用工具）、作業指示の方法を標準化
・被災者は、誰にも相談せず、ケーブルフックを車両から持ち出し、作業現場に設置した	・元請会社は、協力会社に対しルール遵守の徹底、逸脱した際の影響についての指導が足りなかった	
・他の作業員は、被災者がルールを逸脱しても指摘できなかった	・協力会社では安全最優先を浸透させる教育が不足していた	

## 高所作業車が斜面を逸走し別車両との間に挟まれ死亡



<b>業務内容</b>	通信ケーブル用吊線の架設作業
<b>災害態様</b>	はさまれ・巻き込まれ
<b>ケガの程度</b>	死亡
<b>傷病名</b>	—
<b>発生状況</b>	アウトリガー格納後に高所作業車が斜面をいつそうし別の車両との間に挟まれる

### ■ 恒久対策（抜粋）

重要な事実	根本原因	恒久対策
・被災者はアウトリガーを格納した際に、車両が動き出し別車両との間に挟まれた	・被災者はアウトリガー格納する前に輪留めを外した	・輪留めの設置・取り外し手順と、前下り駐車等が必要な理由を標準施工安全計画書に反映し、関係者を教育する
・被災者はSDWを使用するため、車両を傾斜地に前上がり駐車をした	・前下がり駐車は高所作業を行う場合のみ適用されるルールであると誤認していた	・「上級現場監督者」制度を新設し、現責・現監の力量、作業員の技量を評価する
・現場責任者は同日の作業表を確認していなかった	・元請会社は、協力会社の現場の安全管理状況を十分に確認することなく作業を協力会社に一任していた	・現責と上席者等による「施工安全打合せ」を必ず行う ・現責が安全・品質に関する指示を的確に行うための「作業表」の様式を統一する

# 当社の取り組み（安全スローガン、研修）



- 役職や年齢に関わらず、危険な行動や状況を見かけたら、互いに声を掛け合い、仲間の命を守る行動が自然にできる職場づくりを目指し、今年度は「対話」を重要なテーマとして取り組んでいます。
- その一環として、当社では安全スローガンの策定や、「観察と対話」による現場確認研修の実施を通じ、その定着を図っています。
- お取引先のみなさまにおかれましても、安全な現場づくりに向け、当社社員とぜひ活発な対話をお願いいたします。

## 2026年度 安全スローガン

- ◆ 誰もが率直に意見を交わし、安心して本音を伝え合える**相互啓発型組織**の実現に向け、テーマを「対話」と設定。
- ◆ スローガンは従業員に投票により決定し、自分事と捉え、日常的に活用できる内容とした。

仲間との対話で育む  
安全文化

## 「観察と対話」による現場確認研修

- ◆ 作業安全または安全教育のキーパーソンとなる方を対象に、現場における「観察と対話」技術の向上を図る研修を実施。



# 02 健康管理について（特に睡眠の重要性）

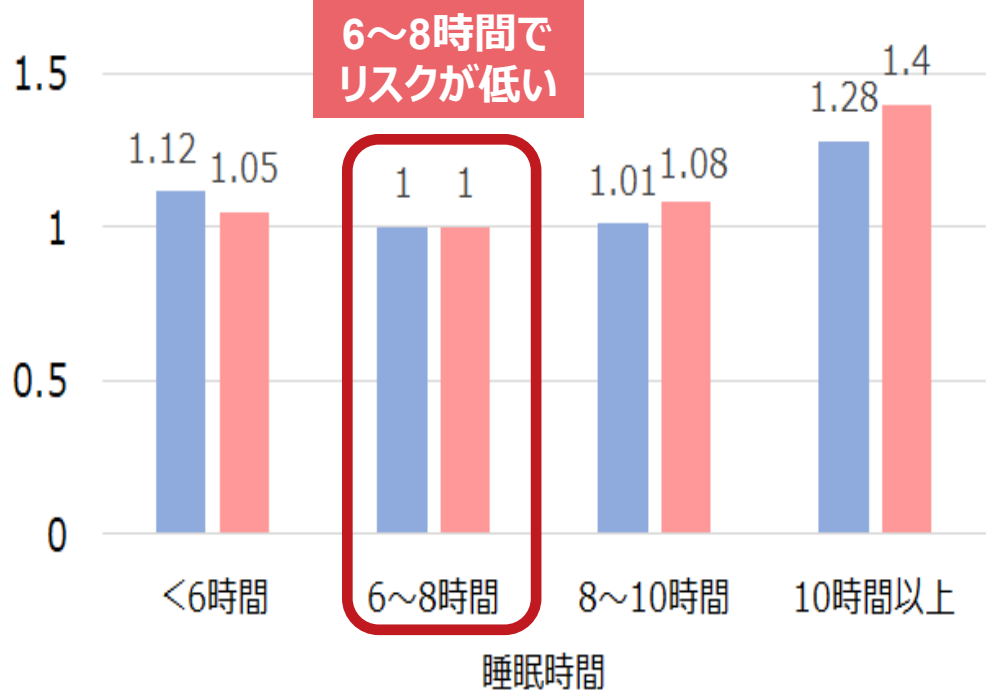
---



- 近年、テクノロジーの進歩により、ウェアラブル端末を活用して自身の睡眠時間や質を可視化できるようになったことから、社会的に睡眠に関する注目が高まっています。
- 様々な研究によって、**睡眠時間6~8時間が、最も健康リスクが小さい**ことが示されています。
- また、**良い睡眠は、眠気や疲労が原因の事故やケガのリスク低減**にも寄与します。

## からだ

### 睡眠時間とメタボリスクとの相関

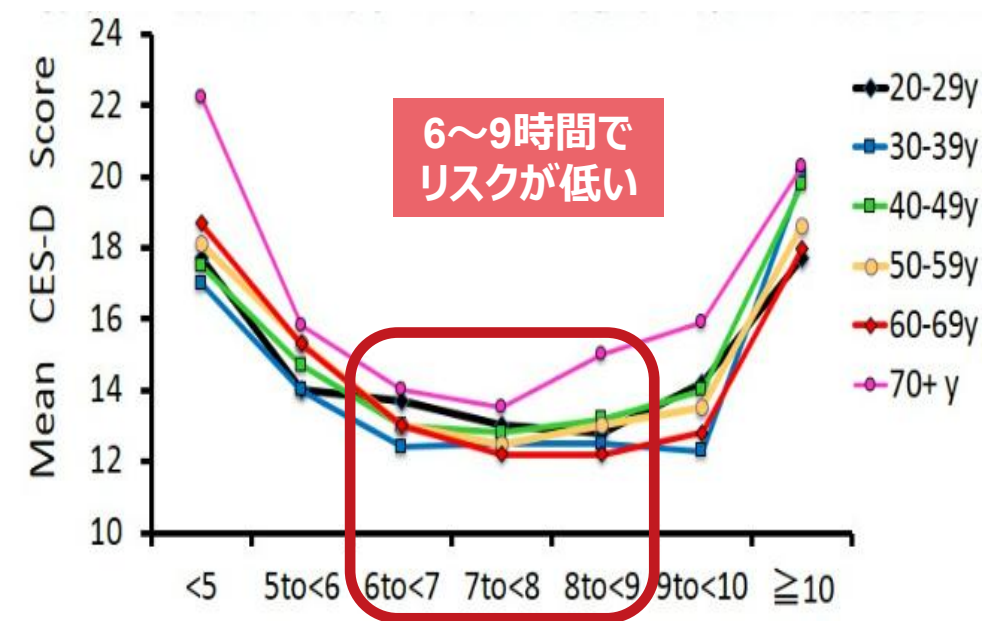


【出典】 Kim et al. BMC Public Health (2018) 18:720

■男性 ■女性

## こころ

### 睡眠時間とメンタル疾患リスクとの相関



【出典】 CES-D:Center for Epidemiologic depression Scale (J Clin Psychiatry 67(2):196-203,2006)

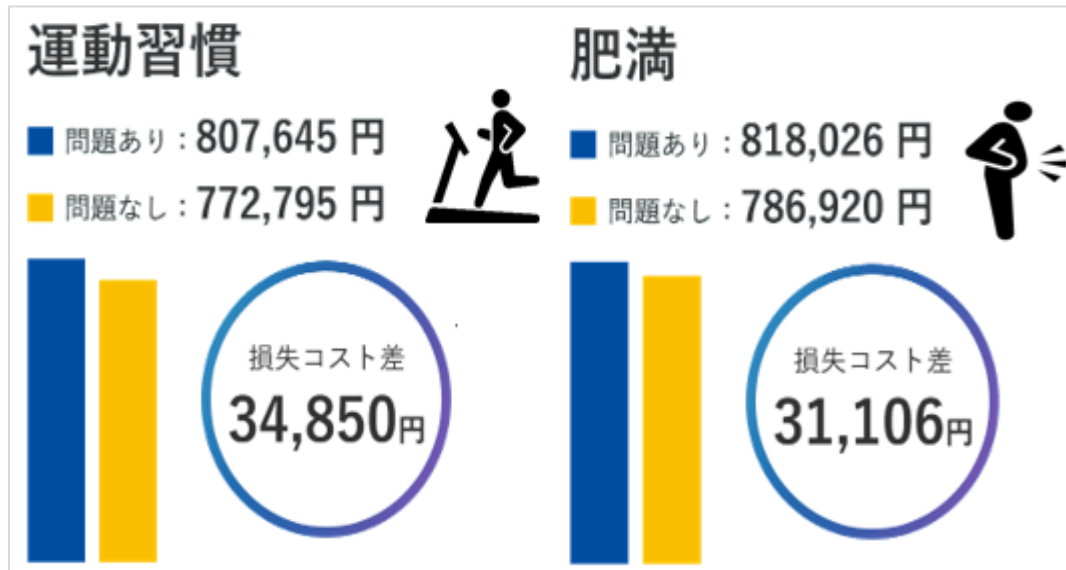
# 睡眠による効果



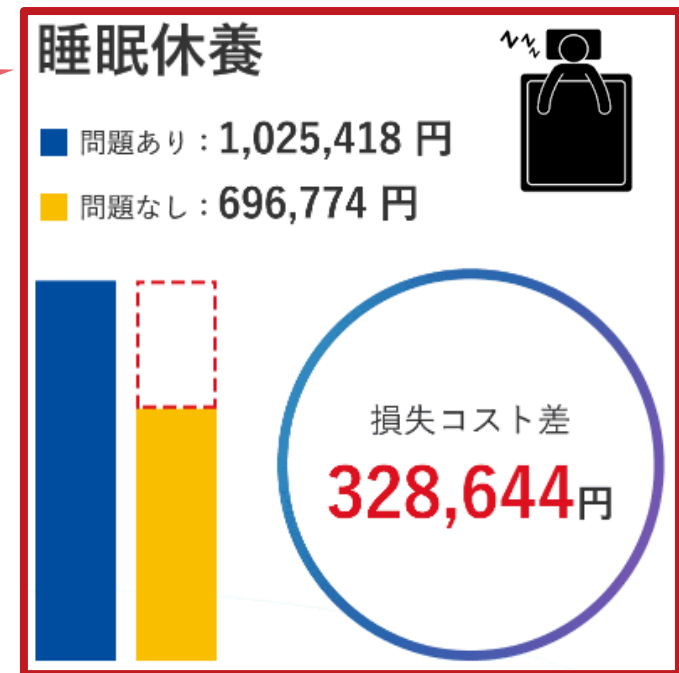
- **生産性を大きく向上させるためには、睡眠課題への対応が最も効果的です。**
- 量・質ともに良い睡眠を取ることは、健康リスクの減少だけでなく、パフォーマンス向上や労働災害の防止にも大きく寄与することから、**中部電力3社では従業員への睡眠支援を実施**しています。
- 弊社の取り組み事例についてご関心がございましたら弊社HPやグループレポートをご参照ください。

[健康経営の推進 - 安全と健康への取り組み | 中部電力 \(chuden.co.jp\)](#)

[中部電力グループレポート2025 \(chuden.co.jp\) \(P.34\)](#)



損失コスト：一人あたりの年間平均



損失コスト：一人あたりの年間平均

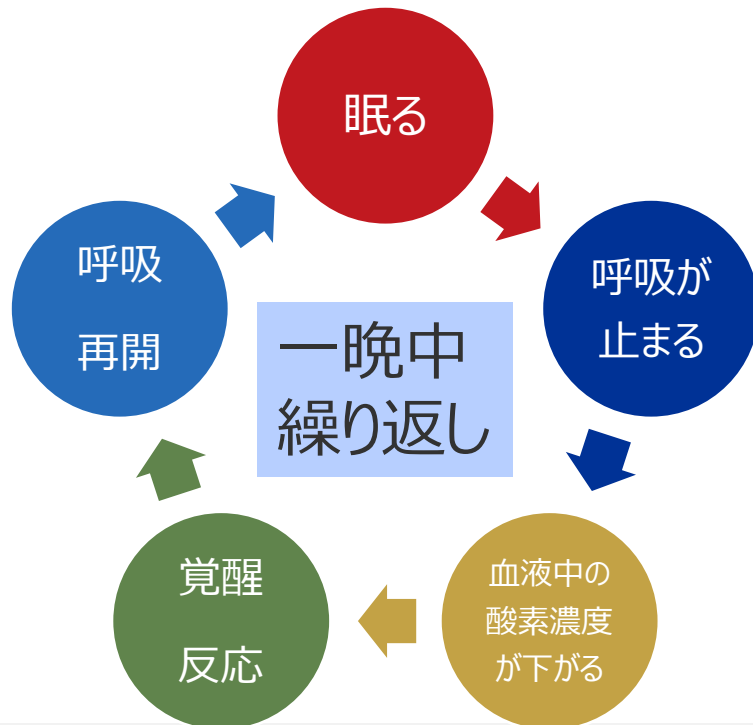
出典：企業の「健康経営ガイドブック」～連携・協働による健康づくりのススメ～（改訂第1版:平成28年4月） 経済産業省

# 睡眠施策（ハイリスク者支援） 閉塞性睡眠時無呼吸症候群（OSAS）について



- 閉塞性睡眠時無呼吸症候群（OSAS）とは、睡眠中に気道が塞がれることにより、呼吸が断続的に止まり、酸素不足や睡眠の質の低下を引き起こす疾患です。
- 放置すると、**日中の強い眠気**や**心筋梗塞**や**脳梗塞**、**生活習慣病**などにつながるおそれがあります。
- 治療が必要な中等度以上は、50代の男性で10～20%程度、50代女性で10%弱とされています。  
\* 睡眠時無呼吸症候群（SAS）診療ガイドライン2020より
- 中部電力3社では、**従業員の睡眠に関連した自覚症状を把握し、産業保健スタッフによる個別面談をしています。**

【閉塞性睡眠時無呼吸症候群で起こること】



深い睡眠がとれず睡眠不足になる

日中の強い眠気により、生産性の低下や産業事故のリスクが増加。

血中の酸素濃度が下がる時間がある

酸素濃度の低下を補うために心臓の働きが強まり高血圧になる。  
動脈硬化が進み心筋梗塞・脳梗塞のリスクが増加。

睡眠不足によるストレス

血糖値やコレステロール値が高くなり、さまざまな生活習慣病やメタボリック・シンドロームのリスクが増加。



- ◆ 多くの重大な災害は、少しの作業ルール違反や不注意などから発生しています。
- ◆ 「安全を最優先に作業する」ためには、一人ひとりが常に自分自身の安全に気を配るとともに、周囲に声掛けできる雰囲気を作ることが大切です。元請となるみなさまに、安全行動の率先垂範をお願いしたいと思います。
- ◆ 当社は、お取引先のみなさまご自身、家族、仲間の安全と健康を守るために、みなさまの声にじっくりと耳を傾けます。安全や健康に関するご提案などがありましたら、ぜひご相談ください。
- ◆ 無事故・無災害に向けて、引き続き安全と健康確保の取り組みの徹底について、よろしく願いいたします。

**ご安全に！**





中部電力



中部電力パワーグリッド



中部電力ミライズ

